

平成30年6月8日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 N E W A R T
代 表 者 名 代 表 取 締 役 会 長 兼 社 長 白 石 幸 生
(J A S D A Q ・ コ ー ド 7 6 3 8)
問 合 せ 先 取 締 役 松 橋 英 一
電 話 0 3 - 3 5 6 7 - 8 0 9 8

平成30年3月期決算短信の遅延理由及び今後の決算開示に関するお知らせ

当社は、平成30年3月期決算短信（連結）を、平成30年6月8日に開示しましたが、当該開示が決算期末50日を越えたことについての理由及び今後の決算開示について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 決算短信の開示が期末後50日後を超えた理由

遅延理由につきましては、当社は、平成30年5月21日付発表の「平成30年3月期決算発表の延期に関するお知らせ」、平成30年5月28日付発表の「平成30年3月期決算発表の再延期に関するお知らせ」にてお知らせいたしました。

具体的には、以下の要因によるものです。

- (1) 平成29年10月1日より持株会社体制に移行したことで、当社自体の会計処理が複雑になったこと。
- (2) 連結子会社が当連結会計年度において6社増加したことにより事務処理量が増加し、連結子会社の決算数値を確定するための作業に想定以上の時間を要する結果となってしまったこと。
- (3) 海外事業の本格的なスタートにより、同様に会計処理に想定以上の時間を要してしまったこと。

以上の状況により、決算数値の確定に当初の予想以上の時間を要することとなり、その結果、決算短信の開示が、遅延する結果となりました。

2. 今後の決算開示について

当社は、今回の決算開示が遅延したことを厳粛に受け止め、今後の開示時期につきましては、期末後50日を超えることがないよう、会計作業に関わる経理部門の増員など管理部門の強化を行い、さらにグループ各社の経理体制を再検証し、業務の効率化、標準化を図ることで、決算開示業務の適正化を進め、開示遅延が起らない社内体制の整備・構築を進めてまいります。

株主の皆様をはじめ関係各位には、ご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

以 上